

Day 1 (2024. 2.14)

◆新横浜駅から新幹線で広島駅に到着した私たちは一路基町高校へ。校長、美術科の福本先生、原爆の絵を描いている美術部の生徒の皆さんに迎えられ、原爆の証言者である切明（キリアケ）千枝子（チエコ）さんから、8月6日の生々しいお話を伺った。ご自身で描かれた原爆の惨状の絵や当時のお写真・新聞を私たちに説明して下さった。本当に貴重なかけがえのないお話だ。改めて、平和の尊さ、そして原爆の悲惨さを語り継ごうと思った。2時間ノンストップでお話くださり、とてもパワフルなお姿に感銘した。



◆その後、基町高校美術部の生徒の皆さんと交流し、いったんホテルに荷物を預けた私たちは、基町高校の生徒の皆さんと一緒にそのままバスで、爆心地（相生橋）の手前に聳える折り鶴タワーへ。頂上からは原爆ドームを含む広島の市街地が一望できた。



◆そこから「Sadako タワー」へ向かい、皆で作った千羽鶴を捧げた。



◆日も暮れ始め、空腹の私たちは広島名物お好み焼きを食べに「みっちゃん」へ。



◆食後は休む間もなく、ホテルへ直行し、基町高校の卒業生の方々と交流した。

皆ご自身の描かれた「原爆の絵」を持参して、その説明と思いを話された。

他県の大学へ進学された卒業生などは、母校での証言活動から離れて記憶が薄れていく懸念や、他県の人たちとの平和活動に対する価値観に隔たりを感じつつも、私たちと交流できたこの機会をととも喜んで下さった。結論は、やはり、平和教育、平和活動が必須であることを痛感させられた。

